

平成 23 年度における契約状況のフォローアップ

平成 24 年 8 月
独立行政法人日本芸術文化振興会

1. 平成 20 年度と平成 23 年度に締結した契約の状況

(単位：件、億円)

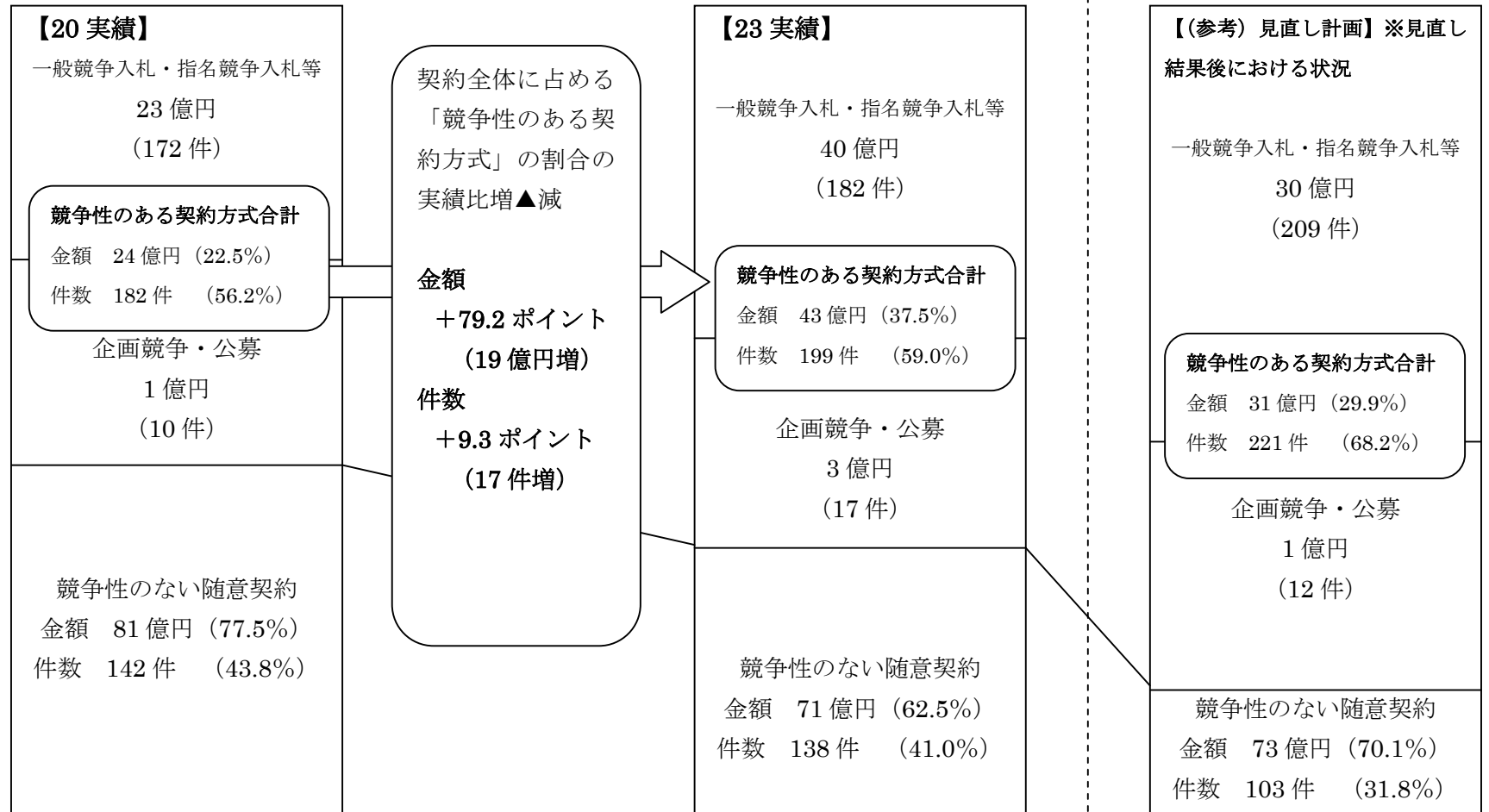
	平成 20 年度		平成 23 年度		比較増△減		見直し計画	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
競争入札等	(53.1%) 172	(21.5%) 22.6	(54.0%) 182	(35.3%) 40.1	(0.9%) 10	(13.8%) 17.5	(64.5%) 209	(28.9%) 30.3
企画競争・公募	(3.1%) 10	(1.0%) 1.0	(5.0%) 17	(2.2%) 2.6	(1.9%) 7	(1.2%) 1.6	(3.7%) 12	(1.0%) 1.0
競争性のある契約(小計)	(56.2%) 182	(22.5%) 23.6	(59.0%) 199	(37.5%) 42.7	(2.8%) 17	(15.0%) 19.1	(68.2%) 221	(29.9%) 31.3
競争性のない 随意契約	(43.8%) 142	(77.5%) 81.1	(41.0%) 138	(62.5%) 71.1	(△2.8%) △4	(△15.0%) △10.0	(31.8%) 103	(70.1%) 73.4
合 計	(100%) 324	(100%) 104.7	(100%) 337	(100%) 113.8	(0%) 13	(0%) 9.1	(100%) 324	(100%) 104.7

(注1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 比較増△減の()書きは、平成 23 年度の対 20 年度伸率である。

(注3) 見直し計画の計数等は、「独立行政法人の契約状況の点検・見直しについて(平成 21 年 11 月 17 日閣議決定)」に基づき公表した見直し計画である。

(参考) 図表 平成20年度と平成23年度に締結した契約の状況



(注) 「一般競争入札・指名競争入札等」には、不落・不調の随意契約を含む。

2. 見直し計画に掲げた競争性のない随意契約の割合に到達しなかった主な理由

劇場業務特有の案件について、業務を履行できる唯一の業者である、又はシステム改修等著作権を有することに関わる案件において、競争相手方が存在しないなどの理由による。

3. 平成 23 年度において、随意契約から一般競争入札等、企画競争、公募に移行した主な契約

該当無し

4. 一者応札・応募の改善状況

(単位：件、億円)

		平成 20 年度		平成 23 年度		比較増△減	
2 者以上	件数	131	(72.0%)	144	(72.4%)	13	(0.4%)
	金額	17.0	(72.0%)	28.4	(66.5%)	11.4	(△5.5%)
1 者以下	件数	51	(28.0%)	55	(27.6%)	4	(△0.4%)
	金額	6.6	(28.0%)	14.3	(33.5%)	7.7	(5.5%)
合 計	件数	182	(100%)	199	(100%)	17	(0%)
	金額	23.6	(100%)	42.7	(100%)	19.1	(0%)

(注1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 合計欄は、競争契約（一般競争、指名競争、企画競争、公募）を行った係数である。

(注3) 比較増△減の（ ）書きは、平成 23 年度の対 20 年度伸率である。

5. 一者応札、一者応募に係る改善方策 (URL <http://www.ntj.jac.go.jp/about/procurement/info.html>) ※リンクを張って下さい。

6. 法人と一定の関係を有する法人との契約状況

平成 23 年 7 月 1 日以降に公示・公募等を行った案件のうち、当法人の関係法人等が契約の相手方となった案件はなかった。